



—今も生きる古くて新しいエンターテインメント—

八咫・子八咫の熱い映画ライフ!

「活弁士」は筋や台詞を語るだけではない。銀幕の喜怒哀楽に観衆を巻き込んで、いかに満場を沸かすかが腕の見せ所。無声映画に熱い生命を吹き込んで、ライブなイベントに仕立てるのが、活弁士の語芸なのである。



「名セリフで〜
活弁体験をしよう!」

映写ヨーイ
スタート

あそう八咫・子八咫
**活弁映画の
ススメ!**

駒鳥座だけの学割付き

夏休み 企画

活弁映画123年

2019 8.25 日

全3回
入替制

シアター駒鳥座

そごう千葉店
ジュンヌ館3階

(書店「16の小さな専門店」内) JR千葉駅・モノレール千葉駅・京成千葉駅隣

[入場料] 一般 2,500円 (前売 2,000円)

各回 50人限定
チケットはお早めに

<学割: 中学生 1,000円 高校生以上 1,300円 / 小学生無料>

★チケット販売/前売券・当日券は、シアター駒鳥座でも販売中!

シアター駒鳥座
活弁映画第2弾!

〜「恐怖」と「笑い」「傑作チャンバラ映画」名作3回公演〜

※一部変更の場合もありますので、ご了承下さい

上映作品

第1回公演 / 12:30 ~ 14:00
第3回公演 / 17:30 ~ 19:00

チャップリンの霊泉

(米 / 監督・主演 チャールズ・チャップリン 1917年 / 25分)

酔っぱらいのチャップリンが高級ホテルに登場。世界の喜劇王、懇親のドタバタコメディ。

吸血鬼ノスフェラトゥ

(独 / F・W・ムルナウ監督 1922年 / 79分)

世界を震撼させたドラキュラ映画第1号作品。スリル満点の吸血鬼映画。(マックス恐怖バージョン)

第2回公演 / 14:40 ~ 16:20

番場の忠太郎 険の母

(長谷川伸原作 / 稲垣浩監督 / 片岡千恵蔵主演 1931年 / 63分)

名優、片岡千恵蔵によるチャンバラ映画の決定版。親子の絆を描いた感動の作品。

国定忠治

(牧野省三監督 / 澤田正二郎主演 1924年 / 25分)

活弁映画の決定版。忠治の名セリフ「赤城の山も今宵を限り……」に注目!

活弁体験ワークショップ

体験者に
オリジナルグッズ贈呈!

名セリフで活弁士体験。一度やったら止められない!



■企画・主催: カツベン映画普及会 ■協力: (株)あそう活弁 ■後援: スコープ・ジャパン(株)、(株)ベジマックス、 闇市酒場、ペーぐるきっちゃん
■問合せ: カツベン映画普及会 普及事務局 / kb_eiga@yahoo.co.jp / Tel.070-5571-7955 (丸山)

前売チケット販売

シアター駒鳥座 (TEL:043-306-6781)

カツベン映画普及会 (kb_eiga@yahoo.co.jp/TEL:043-433-4678)

公演チケットサイト [カンフェティ] (TEL 0120-240-540 平日 10時~18時)

※カンフェティへはこちらのQRコードからお申し込みください。→



2019. 8/25 ㊄

そごう千葉店ジュンヌ館 3F シアター駒鳥座

あそう八咫・子八咫
活弁映画のスススメ！
～活弁ライブ 第2弾～

あそう八咫・子八咫の活弁パワー全開！！

無声映画を今の生きた言葉と音楽で蘇らせ、温故知新の映画文化を創りたい。
活弁の第一人者あそう八咫の想いはいつも熱く、つねに新しい活弁ライブを目指している。
一番弟子の娘、あそう子八咫は英語活弁を得意とする国際派。活弁界を背負う期待の弁士。
父娘活弁士の夢は熱くて大きい。活弁ライブで世代や国境を超えた人々に元気を与えたいとい
う。シアター駒鳥座「活弁映画ライブ」第2弾でも活弁パワー全開。映画の世界から失われた
「拍手」と「歓声」を取り戻すために、日々奔走する父娘活弁士の話芸をお楽しみ下さい。

出演者プロフィール

やた
麻生八咫



活動写真弁士（活弁士）

1952年生まれ。独協大学卒業後、一人芝居「日傘と剃刀」を全国400回公演。
活弁士・池俊行氏の活弁「坂本龍馬」との感動の出会いにより活弁士となる。
1995年 文化庁主催「ジャパン映画フェスティバル」（イタリア）活弁公演
1998年 活弁界初の文部大臣賞受賞
2019年 埼玉坂本龍馬会名誉会長就任
「活弁教室」（台東区社会教育センター）主催
著作『映画ライブ それが人生』（高木書房）麻生八咫・子八咫共著
朗読CD『名人伝／山月記』（中島敦作）語り・麻生八咫

こやた
麻生子八咫



活動写真弁士（活弁士）

1985年生まれ。父・八咫の公演を観て育ち、10歳で浅草木馬亭よりデビュー。
2003年11月 第48回文部科学大臣杯全国青年弁論大会・文部科学大臣賞受賞
2008年4月 高校の英語の教科書「All Aboard! II」（東京書籍）に、
“A Young Katsubenshi”として登場。
2013年3月 東京大学大学院修士課程修了
2015年11月 日本弁論連盟理事就任
劇中活弁、方言活弁、舞台脚本、司会等、さまざまな舞台活動も行なっている。
<http://www.katsuben.com>